

会議記録

会 議 名	令和5年度（2023年度）第2回八王子市博物館協議会
開 催 日 時	令和5年（2023年）11月10日（金）午後6時00分～午後7時25分
開 催 場 所	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）2階・講座室
出席者	委 員 大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、深澤靖幸、山中将一（敬称略・50音順）
	事 務 局 叶清文化財課長兼郷土資料館長、飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、高山徹こども科学館主査、森融こども科学館主任
欠 席 者	（委 員）なし （事務局）なし
議 題	(1) 令和5年度（2023年度）八王子市こども科学館及び郷土資料館事業（4～8月期）実施状況について (2) 八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の延期について (3)その他
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0名
配 付 資 料 等	1.会議次第 2.【資料1】令和5年度（2023年度）こども科学館事業（4～8月期）実施状況 3.【資料2】令和5年度（2023年度）郷土資料館事業（4～8月期）実施状況 4.【資料3】八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の延期について（付属資料含む） 5.その他（刊行物・チラシ類）

<p>会議の内容 (要点記録)</p>	<p>【開会】 (事務局職員による開会の宣言・挨拶等)</p> <p>事務局 会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、鎌倉会長に進行をお願いします。</p> <p>鎌倉会長 本日の会議には10名の委員のうち、一応10名出席予定ということで、現段階9名出席しておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定により会議は成立しております。</p> <p>【議題】</p> <p>1. 令和5年度(2023年度)八王子市こども科学館及び郷土資料館事業(4～8月期)実施状況について</p> <p>鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。</p> <p style="text-align: center;">— 事務局職員による説明 —</p> <p>鎌倉会長 説明が終わりました。確認やご質問をお願いします。</p> <p>進藤委員 郷土資料館の報告の中で、昨年度も今年度も開催されていない特別展と企画展とを分けてあるが、これは何か違いがあるのか。</p> <p>事務局 特別展は、他館から資料を借用し図録を作成するものを指しますが、なぜ開催しないかということ、場所の制約、消火設備の関係で史料をお借りするのが難しいということです。</p> <p>國方副会長 こども科学館ですが、トワイライトプラネタリウムはコロナ禍前、新しく立ち上げてやっていこうということだったと思いますが、これはもくろみとしてはこんな感じか、それとも、もう一息かというところを教えてもらいたい。</p> <p>事務局 確かに通常に投影している番組よりも、趣旨を変えてというところは正直ございます。過去には、番組によっては1回につき100名以上の入館者数があったりもしたので、この人数でいいと思っているということではございません。ただ、こちらの意図からすると、もう少し来てくれてもいいかなという内容だと思いますが、トワイライトプラネタリウムを続けていくのであれば、テーマの選定と入館者数の増加は大きな課題だと思っております。</p> <p>國方副会長 とて素晴らしい取組だと思うので、ぜひPRをいっぱいして残してください。</p>
-------------------------	---

馬場委員	まず、こども科学館の5ページの教員研修、今年前半は行ってないということですが、研修の状況と、郷土資料館については3ページの総合的な学習の受け入れで、学校数はもっとあると思いますが、これは歴史や民俗を対象にしていないからなのか。それから、4ページが非常に気になったところだが、八王子市は小学校は50校ぐらいあるのでしょうか。
事務局	70校以上あります。
馬場委員	そうすると、見学に来るのは本当にごく一部のような感じがするが、行きたくても行けないところがあったり、何も連絡しないで来る学校もあるのか分からないけれど、それにしてもちょっと少ない気がする。そういうところに対する働きかけというか、教員研修は小中学校の先生方への広報活動、それから郷土資料館での学生の見学についてはどういう広報をやっているのか。これも先生方に働きかけるといことが前提になると思いますが、その辺りを教えてもらいたい。
事務局	こども科学館での教員研修は夏休みです。先生からの依頼で受け入れるのですが、今年度は希望がなかったということです。
事務局	昨年度は、中学校の先生が1名来られて、主に受付業務やお客様対応を経験してもらいました。
馬場委員	教員研修というのは、そういう内容の職場体験のようなことをやっているということですか。
事務局	そうです。初任者研修では、幼稚園や図書館に行ったりして、受付業務や資料整理など職場体験のようなことをやるのが研修の一環です。
事務局	学校の先生は、なかなかの閉ざされた社会の中でありますので、サービス業での接客のようなマインドを学んだりしてもらった内容となっています。
馬場委員	教員の方に実際博物館というのはこういうことをやっている、ということを知っていただくのは非常に重要なことだと思うし、そうすると先生が生徒を連れてくることもあるのではないかと。そういうことはやっていないということですか。
事務局	こども科学館では、工作教室や講座の補助もやっています。
馬場委員	では、現時点ではこども科学館の全体的な概要を教えるような研修はないということですか。私もこれからは特に子どもたちを育成するために博物館として活動してほしい

	<p>いなというのが、質問の趣旨です。川越市立博物館などには指導教員が配置されていますよね。ある時期になると、必ず全部の小中学校が見学に来るという仕組みをとっている。30年ぐらい前の話で、今はどうなっているか分からないけれど、そういう例があるから、八王子市でももう少し組織的にできないかなと感じました。</p>
山中委員	<p>関連してですが、以前は教育委員会がバスを無料で手配して、市内のほぼ全部の小学4年生がサイエンスドームに来ていましたが、それは今どうなっているのか。環境を整えば郷土博物館やサイエンスドームに行ける。無料でバスを出してもらえるかどうかで本当に変わってくると思う。今、馬場委員がおっしゃっていたのは、私もすごく賛成で、以前、八王子ではないが他地域から転入してきた先生が地元のことを知る、そのために一番いいのがやはり郷土資料館ということで、4月当初、もしくは夏休みに先生たちが研修するということがあった。先生たちは忙しいものの、こんないい施設があるのに、しかもはちくは駅からダイレクトで行けるのに、やはりもっと利用してほしいというのは本音です。</p>
事務局	<p>今の山中委員の御意見の中で、夏休みの教員研修の機会に、私どもは八王子城跡をテーマとして話をしてくれというようなことで、そこに乗り込んで行って城跡のお話をするなど、求めに応じてやっています。その時々教育委員会のテーマ設定にもよりますが、これは非常にいい機会です。そこで学んだ先生たちが、今度は子どもたちにそれを教えてくださる。そういう好循環を期待していますので、ぜひ今後も続けていきたいと思えます。</p>
山中委員	<p>今、各学校に10セットぐらい郷土かるたが配られていますが、3年生にはすごく難しい。先生がすべてを教えるのではなく、それを解説してくださるゲストティーチャーの派遣の機会があると、博物館側が待っているだけじゃなく、出向いていくという機会があるといいと思いました。</p>
事務局	<p>秋葉台小学校では、配付したかるたを利用して大会を開いたことがありました。それに我々の学芸員が出向いて読み手として教えてあげたのですが、そういうことは今後もどんどんやっていきたいと思えます。</p>
鎌倉会長	<p>そういう教育連携は非常に大事です。それぞれの先生方に知ってもらう機会があると良いと思えます。</p>
長田委員	<p>情報発信の話ですが、日頃、私は八王子市給食センターがすごく情報発信が上手だなと思っています。市のLIN</p>

	<p>Eでも、独自で持っているインスタグラムのページでもダブルで情報を出しています。LINEでこんなイベントをやっていますという情報を出しながら、ほかの情報に隠れてしまうことがあります。それを補うために、そういえば給食センターの情報はどうだったかなと思ったとき、インスタグラムを見るとそれが必ず見られるようになっていきます。大変だとは思いますが、そういう最近はやりのツールを活用していくのも一つの手かなと思いました。</p> <p>事務局 今、長田委員から御指摘があったように、私どもの給食センター担当所管は、やはりインスタグラムの活用がうまいです。その部署が実は市役所の中でも先頭に立ってインスタグラムの発信をしているので、教育委員会としても、これはもうしっかり使えないといけないということで、どう活用していくかというのを部で取りまとめをしているところです。今、子育て世代の方々は当然ながらスマホ世代ですから、相手方により多く情報が届くような発信の仕方、インスタグラムなどが必要だと思っています。しっかり取り組んでいきます。</p> <p>長田委員 ぜひよろしく願いいたします。</p> <p>深澤委員 遅れまして大変失礼いたしました。先ほどの馬場委員の発言に、情報提供という形でお話させていただきたいと思えます。</p> <p>府中市では、学校の先生方、教員研修、馬場委員が言うような教員研修、そういったものがコロナで少し断絶はしましたが、継続してずっとやってまいりました。それは一つには、府中市教育者研究会という学校の先生の集まりで、社会科部会や生活科部会といった部会ごとにオフ会をいただいています。社会科と生活科に関しては、毎年のように来ていただく形になっていて、新任の先生が中心ですが、プラスアルファで幹事の先生に差配していただいて御案内するというのを繰り返しています。また、校長会などを通じて、なるべく博物館利用をアピールしているところもあるかと思えます。</p> <p>もう一つ、指導主事のような形で博物館に教員がいるというお話でしたけれども、川越市では確かにそういうことをやっていて、府中市の場合、不幸なことに直営ではないので、そういったシステムが取れないんです。川越市では、実際に教員が博物館に常駐して学校対応するシステムをとっているところです。それは全国的にも多くはないと思いますが、政令指定都市がやりやすく、北九州市や福岡市</p>
--	---

でもやっていたかもしれないですが、幾つかの実例があります。教員がその場にいてくださると、私たち学芸員としても、子ども目線で語ることができるというのが最大のメリットだと思うんです。ふだんから同じ職場の中に教員と学芸員が同居していますので、その中で意見交換しながら、教員が来る学校、学年に合わせて授業を持ってくれる、そんな感じで計画をしているのかなと思います。

馬場委員 川越市では指導主事が対応しているんですね。

深澤委員 常駐の指導主事の方がやっていると思います。

馬場委員 学校の授業に合わせて、学芸員だけでなくそういった対応をしているということですね。

鎌倉会長 どうもありがとうございます。これは博物館だけの問題ではないと思いますが、ぜひ今後そういう仕組みづくりがされていくと良いと思います。

大森委員 情報発信について似たような話を聞いたのですが、半年ほど前だったでしょうか。ある博物館の小さな企画でしたが、藩士の日記を紹介したものがありません。その企画は行ってみたらすごく人気があって、雨の日だったにもかかわらず結構人が来ていたということでした。それで担当者の方に、一体どうしてこんなに集められたのですかと聞いてみたら、一つには日記という非常に堅苦しい題材であるけれども、その日記の中に藩士がメモのようにいろいろ描いた絵があって、その絵をメインにしてやっていくことで、見せることを心がけたと。そして誰が情報発信をしていたかということ、実際に来た人がインスタグラムに上げて、こんなものがあるよ、というので、何か面白いなというので結構人が来ていたということを知りました。

ただ、それは高校生ぐらいが多かったようですが、高校生にとって、小さな企画展ではあるけれども大いに発信する機会になったらしく、なかなか面白い事例だということと、もう一つ、博物館で企画したのは、それに合わせた動画をかなり作っていたらしいんですね。それが、何か引っかかりがあると、そういったものを手がかりにして広告をしてもらったという側面もあったらしく、なかなか面白い話だと思いました。

それは一つのエピソードにすぎないのかもしれませんが、先ほどの「昭和のこどもたち」の展示で、かなりの数の人形があるという話が出ていましたが、それは今後どう活用されるのでしょうか。

事務局 この人形については、石井美千子様とおっしゃる作者の

	<p>お子様が八王子市在住ということで、八王子に縁が深いと。これはたしか平成の初め、当時まだそごうがあった頃に、そごうで展示会をやっていらっしやって、すごい人気があったと。その中で、市と何か一緒にできないかというお話があり、こういった展示をお借りしてやってみましょうということで、期間は短かったのですが、空いていた年度当初にうまくアジャストできたので、展示させていただきました。人形は一時的にお借りしたもので、今後の活用については作者の先生方の考えなどもあるのですが、本市、当館もいろいろできれば良いと考えております。</p>
大森委員	<p>やはり具体的なものがあると、インパクトがあるのかなと思いますので、ひとを引きつけられる展示物を出しておくと、それを入り口にして中へ入っていけるのかなと感じました。</p>
事務局	<p>昭和のこどもたちは、テーマ別であのような人形が全編で300体ぐらいあります。春夏秋冬で見せたり、先ほど見ていただいたのは海をテーマにしたもので、あそこは浜辺なのですが、漁師や、ああいうお母さんたちが火を囲んで話しているような情景もあり、そういったテーマ別の展示も考えていきたいと思っています。</p>
大森委員	<p>そういう企画があると、結構引きつけるものがあるかなと感じます。</p>
進藤委員	<p>先ほどから出ている教育連携の話ですが、これは部署が分かれています難しいかもしれませんが、毎年実施している中学生対象の市の科学コンクールに関して、今、こども科学館で何か協力なり連携はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>入賞者の方に、こども科学館の無料入場券を贈っております。</p>
進藤委員	<p>表彰式の会場はここではなくて教育センターがよく使われていると思いますが、こども科学館だと狭過ぎるということですか。</p>
事務局	<p>そうです。主催が中学校のPTAの方たちで、以前は学園都市センターやったりしていました。</p>
進藤委員	<p>今、最終審査はS S I S Sという団体が担っていますが、例えばその入賞した科学論文の展示をこちらでできると、もう少し連携っぽくなるかなという気がしました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。市役所本庁舎では、一定期間展示しています。</p>
進藤委員	<p>小学生版の最優秀のものは教育センターに掲示されるようですが、教育センターは一般の人はなかなか行かないで</p>

す。それこそ教員研修で行ったりすると、こういうことをやっているというのは分かりますが、やはり人がたくさん来るところに掲示してあげると、本人もやる気を出してより発展していくと思います。

國方副会長 私は、PTA連合会の幹事をやっているメンバーで、今のお話はとてもいいなと思ったので、今年12月2日に教育センターであります。会場の話と展示の話は早速伝えてみます。ありがとうございます。

鎌倉会長 ほかにはよろしいでしょうか。

馬場委員 4ページですが、先ほど新博物館を見据えた連携という御説明があったかと思えます。それぞれ6月10日や8月3日～7日という短期間のものですが、大学に依頼をしていらっしゃるんですか。その辺りの仕組みを教えてください。

事務局 実施日につきましては、調査を行った日になりますが、実際は、例えば帝京大学はこの後、学生の発表を授業の中で行ったり、審議会も1年通して行われております。また、法政大学の祭りの調査についても、引き続き追分町へ追加調査に行ったり、今年度は上の町会二つを対象にした調査、来年度は下の町会を調査対象にするなど、この二つの大学は、引き続き連携を進めていく予定でございます。

馬場委員 市側から頼むような形でやっているのですか。

事務局 帝京大学に関しては、もともとこちらからお願いし、法政大学については大学側から依頼がありました。この2校とも、現在八王子市と協定を結んでおります。

馬場委員 イノベーションセンターですか。

事務局 そちらともお話をさせていただいております。社会学の研究室の方々が、その手法を学ぶ目的を持って、実際に町会に入って、町会の人たちの話を聞きながら、地域との触れ合いや人間関係も築きながらやっております。

馬場委員 わかりました。うまくいくといいですね。

2. 八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の延期について

鎌倉会長 続きまして、議題（2）について、事務局から説明願います。

— 事務局職員による説明 —

鎌倉会長 説明が終わりました。ご質問等をいただきますが、まずお伺いしますが、次の計画期間はどのようになるでしょうか。

事務局 令和7年度からの5か年計画としたいと考えております。

馬場委員 計画は誰が策定するのか。検討会ができるのか。

事務局 まだ検討中ですが、ヒアリングなども実施したいと考えております。

馬場委員 いろいろな科学館を視察するのが良いと思う。国立科学博物館の人に聞いたら港区の科学館が楽しみながら科学を学ぶ新しい施設と聞いていますので、そのような施設を視察することも必要だと思います。

國方副会長 計画は現実的なものを見せるべきだと思います。管理運営手法は直営を考えているのか。

事務局 指定管理者制度を想定しています。

鎌倉会長 研修なども必要と考えます。

菊池委員 イベントやワークショップなどの機会に繰り返し行うのはどうでしょうか。

大畑委員 ヒアリングを行うのであれば、ぜひ子どもたちからも意見を聞いてもらいたい。

深澤委員 管理運営に関しては、直営とするか指定管理者とするかがカギとなる。

3. その他

鎌倉会長 議題（3）その他として、事務局から何かありますか。

— 事務局から案件なし —

鎌倉会長 委員からもよろしいですか。

— 発言者なし —

鎌倉会長 それでは、最後に次回の開催予定をお願いします。

事務局 次回開催は、明年2月上旬頃を予定しております。日程調整については年末を目途に改めてご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

鎌倉会長 以上で、令和5年度第2回八王子市博物館協議会を終了いたします。

— 閉会 —

--	--